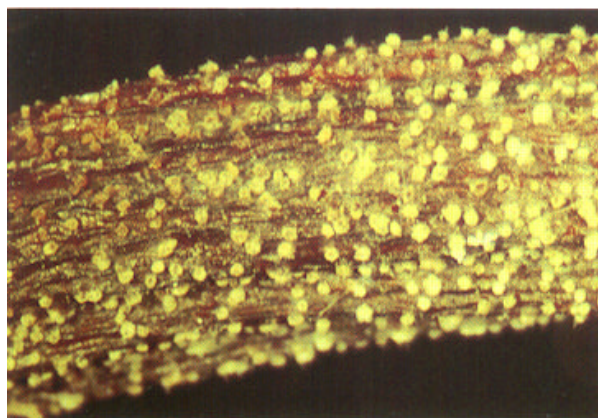


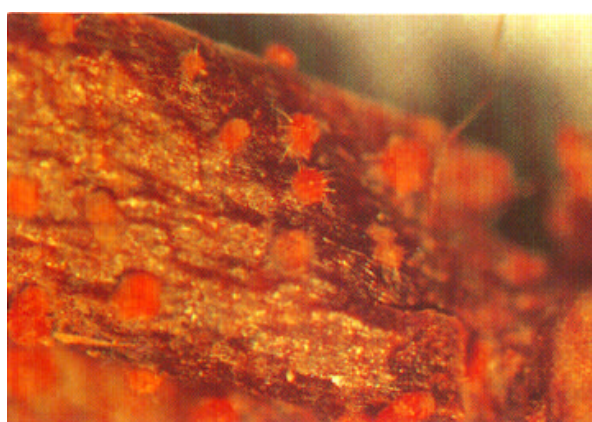
### <フッキソウ紅粒茎枯病>



葉及び茎の病徴



茎の病斑上の分生子座



子のう殻

### <フッキソウ紅粒茎枯病>

病原菌：*Pseudonectria pachysandricola* Dodge

(分生子世代 *Volutella pachysandricola* Dodge)

#### 1. 症状

茎が黒変、乾燥枯死し、葉には灰緑色～灰褐色の不正円斑を生じる。病斑全面にはじめ淡橙色～橙色の分生子座を形成し、10月頃より同子座上に紅色～深紅色の子のう殻を密生する。

#### 2. 生態

病原菌は病斑上に大量の分生子を形成し、これが伝染源となる。罹病植物体上の子のう殻で越冬する。フッキソウのみに発生する。

#### 3. 防除

1) 健全株から採穂する。 2) 発病株は直ちに除去する。

#### 4. 記事

本病は1990年6月、秋川市の育苗用施設で発生した。また公園等の植栽地でも被害を確認している。